

ほっかいどう 広報紙

北海道が わかる つながる かわる
— 年6回 奇数月にお届けします —



2013
3月
平成25年3月発行
通巻197号

一穴をあけて保存できます

特集 みんなで助け合う地域づくり

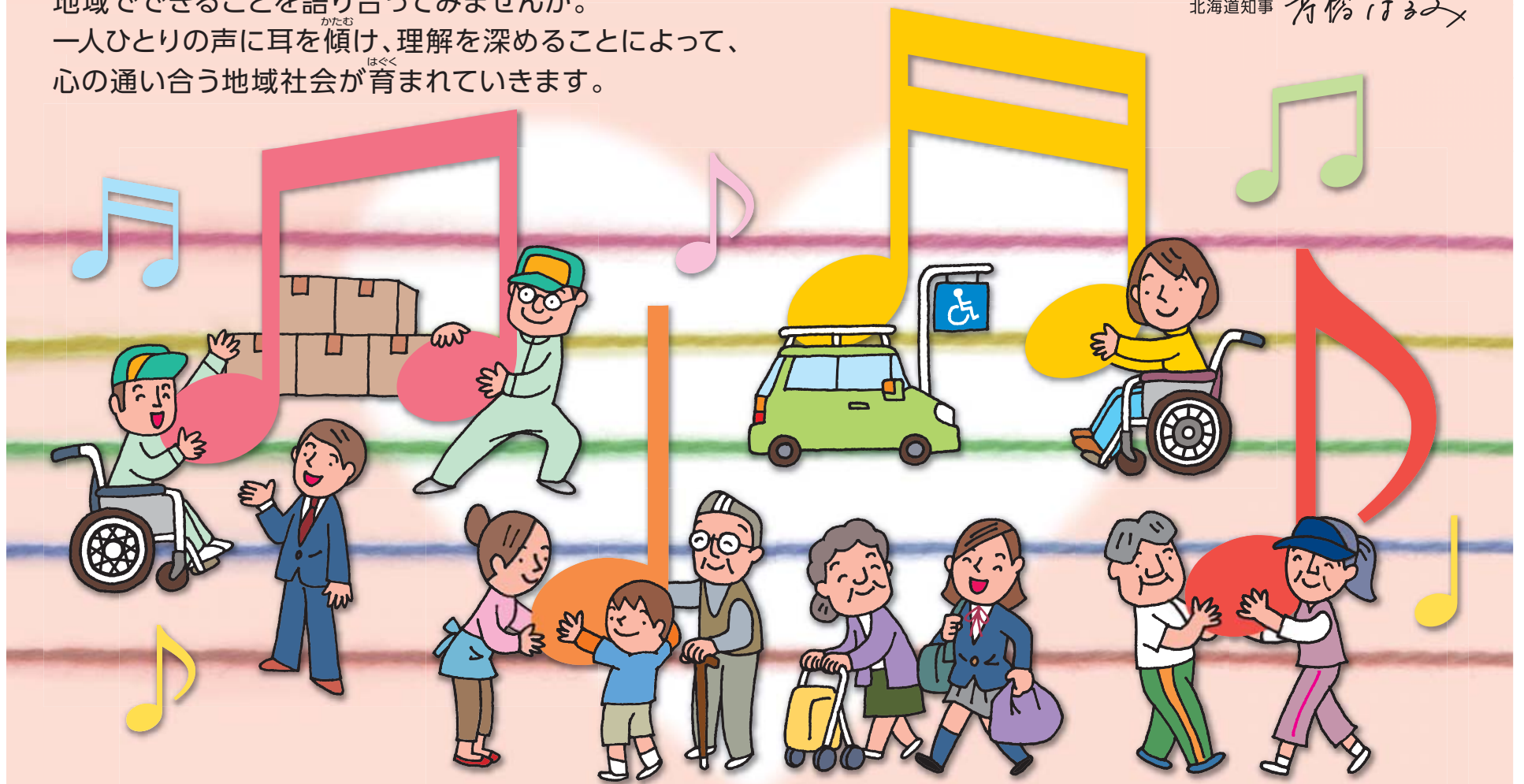
「暮らしやすい地域にしたい」 みんなの願いを紡いでいくと、 思いやりにあふれた地域が生まれます。

住み慣れた地域で、だれもが安心して暮らせるように、
地域でできることを語り合ってみませんか。
一人ひとりの声に耳を傾け、理解を深めることによって、
心の通い合う地域社会が育まれていきます。



地域でのつながりを大切に、
安心して住み続けられる
北海道を築きましょう。

北海道知事 吉野 博史



高齢者や障がい者にやさしい地域は、みんなが暮らしやすい地域です。

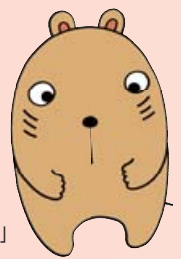
地域に暮らす高齢者や障がい者が、日常生活でどんな支えを必要としているかについて考えたことはありますか。

高齢者や障がい者が感じる暮らしの不便や困りごとは、年齢を重ねたとき、けがや病気をしたときなどに、だれもが直面する問題ともいえます。それらを地域の課題として共有することは、みんなが暮らしやすい地域づくりの第一歩なのです。

「住み慣れた地域で、健やかに安心して暮らしたい」という願いは共通

です。暮らしの安心を育むには、地域での結びつきを強めていくことが大切です。住む人同士が気軽に声をかけ合い、困ったときにも支え合えるような、温もりに満ちた地域をみんなの手でつくっていきませんか。

道は、高齢者や障がい者にやさしい地域づくりを目指し、暮らしやすさを支援するしくみづくりとともに、暮らしづらさや不便を解消するための取り組みを進めています。



北海道保健福祉の
マスコット「うっさん」

地域でのつながりを活かし、ネットワーク力を高めましょう。

高齢者や障がい者にとって暮らしやすさの基盤となるのは、身近な地域の支えです。そのため道は、高齢者・障がい者福祉のあるべき姿について条例などを通じて考え方を地域と共有し、それぞれの地域での取り組みが進むよう支援しています。

その一つ **北海道福祉のまちづくり条例** では、すべての方々が、病院や公園、商業施設など公共的施設の出入口、トイレ、駐車場などを円滑に利用できるよう基準を示し、整備を進めています。

また、平成21年に施行した **北海道障がい者条例**

では、「障がいのある人が当たり前暮らしやすい地域は、だれにとっても暮らしやすい地域」という考えのもと、障がい者が暮らしやすい地域づくりを目指すさまざまな取り組みを進めています。

さらに、平成24年12月の **北海道見守り共同宣言** は、高齢者や障がい者が地域で孤立することのないよう、さまざまな関係機関等が連携して、助け合いのネットワークによる見守りを進めていこうというものです。

こうした取り組みを地域に広げ、北海道全体で豊かな福祉社会を築いていくことを目指しています。いきいきと暮らす高齢者や障がい者が増えることは、地域を元気にし、さまざまな課題に対応できる地域のネットワーク力を高めることにつながるのです。

じゃあ、地域で
どんなことが
できるのかな？



キャラクター
コウハク氏

詳しくは
中面へ

特集 みんなで助け合う地域づくり

つながりを活かした取り組みが、地域に広がっています。

高齢者や障がい者にやさしい地域は、みんなが暮らしやすい地域。温かなふれあいのある人間関係を活かし、地域のみんなで支え合おうとする取り組みを紹介します。

暮らしの安心を育もう

● 高齢者・障がい者を見守る、助け合いのネットワーク

高齢者や障がい者を地域ぐるみで見守っていくため、道が関係機関等とともに「北海道見守り共同宣言」に基づき、道内でさまざまな見守り活動が広がっていくことが期待されています。

地域のつながりを活かした見守り活動に取り組んでいるのが、平成19年に創設された室蘭市の「高齢者たすけ隊・見守り隊」。地域包括支援センターが中心となり、チームで高齢者の暮らしをサポートする「高齢者たすけ隊」と、地域住民が新聞販売店など72事業者（平成24年12月現在）と連携する「高齢者見守り隊」が地域を支えています。



地域のサロンに集まる高齢者

▶道庁福祉課 ☎(011) 204-5267

地域の絆を活かして高齢者を見守っています。



民生委員 佐藤 紀恵子さん(室蘭市)



「高齢者たすけ隊・見守り隊」では、地域包括支援センターと地域ごとの民生委員、福祉委員などが連携して高齢者を支えています。

私の住む舟見町は、市内でも高齢者の多い地域。昨年11月の大規模停電で各戸を訪問したときは、一人暮らしで持病のある方の安否が特に気がかりでした。地域のチームで訪問回数を増やしたり、隣家に見守りをお願いするなど、状況に応じた支援を心がけています。

舟見町のように昔ながらの地域の良さは、住民同士のつながりが強いこと。高齢者の皆さんが月2回集まる地域のサロンも、お互いの様子を確認するのに役立っています。

● 住民主体の地域づくりを目指そう

● より良い地域づくりをみんなで考える



自由に意見を出し合う地域づくりミーティング

安心して暮らせる地域にするためには、住民の地域づくりへの参画が不可欠です。そこで道では、住民がより主体的に地域づくりに関わることができるよう、市町村と連携した取り組みを進めています。その一環として、平成23年度から「地域づくりミーティング」に取り組んでいるのが真狩村。住民同士が自由に話し合えるよう、道が作成した「安心して暮らせる地域づくりガイドブック」を使ってシートに意見をまとめ、それをもとに新たな施策も生まれています。

住民がアイデアを出し合い、地域づくりへの願いを率直に語り合うことで、地域の新たな可能性が見えてくるかもしれません。

▶道庁高齢者保健福祉課 ☎(011) 204-5272

住民の視点で地域をより良く。まちの可能性を感じました。



地域づくりミーティング参加者 漆原 千鶴子さん(真狩村)



平成23年度の「地域づくりミーティング」では、真狩村に長く住む人たちが集まり、高齢者の暮らしの不便について話し合いました。その意見をもとに実現したのが、歩道脇の簡易ベンチや高齢者向けのサロン、地域運行バスなど。翌24年度には村外出身の若手住民たちも加わり、さらに活発な意見交換ができました。

住民同士で語り合う場を通じて、まちを客観視することができ、地域をより良く変えていける可能性を感じました。この成果を地域全体で活かすことが今後の課題だと思います。



意見をもとに実現した簡易ベンチ(真狩村)

● 障がい者の暮らしを守る「地域づくり委員会」

「北海道障がい者条例」に基づき、総合振興局・振興局に設置している14の「地域づくり委員会」では、障がい者への差別や虐待をなくし、暮らしづらさに関する地域の課題等の解決に取り組んでいます。

「障がいを理由に不当な扱いを受けた」などの申立てがあると、地域づくり委員会が中立公平な立場で調査し、解決に向けて関係者と協議を進めます。申立てや相談は、どなたでもできます。地域づくり委員会事務局(各総合振興局・振興局社会福祉課)にご連絡ください。

北海道障がい者条例 検索

▶道庁障がい者保健福祉課 ☎(011) 204-5899



地域づくり委員会が行ったバスの乗車検証

車いす利用者の声から、バスの単独乗車が可能に。



地域づくり推進員(上川圏域) 安達 潤さん(旭川市)



障がいのある人たちが不便を感じたまま暮らしているケースは身近にあり、こうしたことの解決のお手伝いをするのが地域づくり委員会です。平成23年、管内の電動車いす利用者が路線バスに乗ろうと電話予約をしたところ単独乗車を断られ、委員会に申立てがありました。関係機関に調査した結果、バス会社の規定が見直され、単独乗車が可能になりました。

さらにその後、複数のバス会社が関係機関等と連携して地域の方々の車いす乗車体験に取り組むなど、障がいのある人たちへの理解が広がってきました。

地域づくり委員会を活用していただくことで、一人の声を地域の問題として共有し、暮らしやすい地域づくりに役立てることができました。

● 車いすマークの駐車場は、必要な人のために



店舗などにある「車いすマーク」の付いた駐車スペースは、車の乗り降りや歩行が困難な障がい者などのためにあります。本当に必要な人がいつでも利用できるように、迷惑駐車はやめましょう。

▶道庁福祉課 ☎(011) 204-5268

赤れんが 道からのお知らせです。お問い合わせはマークの窓口、またはホームページへ。

愛称「みらいっぽ」北海道わかもの就職支援センター 「みらいっぽ」とは、若年者の就職支援施設「ジョブカフェ北海道」と「ヤングハローワーク札幌」の総称です。

自動車税の住所変更 お引越しのときは早めに手続きを 自動車税は、毎年4月1日現在で自動車をお持ちの方に納めていただく道税です。

振り込め詐欺の被害防止 落ちこぼれ、振り込む前に相談を 振り込め詐欺は、被害者の弱みや親子の情愛につけ込む犯罪です。

女性の健康サポートセンター すべての道立保健所に開設しています 妊娠、出産、子育ての不安・悩み、望まない妊娠、不妊、思春期や更年期のころやからだに関する事など、女性のライフサイクルに応じて、相談をお受けします。

食べて応援! YES! clean 農産物 安全・安心な「北海道産」です 道では、環境にやさしく、安全・安心な農産物を生産するため、健康な土づくりに努め、化学肥料や化学合成農薬を必要最小限に減らしたクリーン農業を進めています。

道議会 報告します! 北海道議会の概要などをお知らせします。 可決した主な会議案 北海道議会の会派及び議員の政務調査費に関する条例の一部を改正する条例案 など

平成24年第4回定例会 (11/27~12/25) 知事から予算案件3件、条例案件45件、工事請負契約の締結などの案件6件、報告案件5件の合計59件の議案が提出され、このうち議決が必要な55件については、すべて原案可決または承認議決されました。

ちよびエコ

次々に入浴して追い焚きをやめると、1回あたり18円の節約でござる!

65歳以上の市民に地域貢献してもらうことで、介護を予防する。

介護支援いきいきポイント事業【苫小牧市】

昨年4月からスタートした「介護支援いきいきポイント事業」は、65歳以上の市民にボランティアとして地域貢献してもらうことで、介護予防を推進する道内でも有数の取り組み。登録したボランティアが、市内の介護施設で利用者の話し相手をしたり、イベントを手伝うことでポイントをもらって換金できる制度です。

高齢者には「自分の行けるときに、できることだけやる」という負担にならない社会参加の場となり、介護施設からも「利用者が刺激を受けたり、町内会など地域と連携しやすくなった」と好評です。

つながる! ひろがる!

北海道物語

高齢者×ボランティア

高齢者の健康を守り、いつまでもいきいきと暮らせるような魅力ある取り組みをご紹介します!

高齢者×トレーニング

貯筋体操【美唄市】



車いすを押して緑日にお出かけ

草刈りでも、将棋の相手でもいいのです。



登録ボランティア 西川 勇一さん

僕にとってボランティアは楽しみ。他にもいろいろ活動していますが、この「介護支援いきいきポイント」は、自分のできる範囲でやれるので登録しました。昨年、僕は草刈りを3回、夏祭りで焼き鳥を焼いたくらいかな。話し相手といっても最初は何を話しているかわからないですね。そんな方は施設の清掃、囲碁や将棋の相手から始めてもいいのです。続けるうちに、相手の笑顔が自分の喜びになってきます。

▶お問い合わせ 苫小牧市介護福祉課 ☎(0144) 32-6347

貯筋体操とは、転倒防止などを目的に高齢者向けに考えられた筋力トレーニング。独居老人が多い美唄市では、NTT※との共同研究により平成16年度から、この体操を活用した介護予防事業を開始しました。

自主グループが地域の会館などに週1、2回集まり、指導者がいなくてもスクリーンの映像を見ながら行えます。年に1度、体力測定を行うことで変化を実感。「歩くのが速くなった」「階段の上り下りが楽になった」と口コミで広がり、現在29グループ568人が参加しています。

※NTTコミュニケーションズ株式会社、NTTサイバーソリューション研究所(現NTTサービスエボリューション研究所)の2社



スクリーンを見ながら体操

外出するのが楽しくなるような体操です。



自主グループ「つくしんぼ」代表 宮越 信子さん

老人クラブで体験したのがきっかけで、町内会にも声をかけて2年前にできたグループです。会員は40人ほどいます。参加者は毎週10人程度。会館の使用料を工面するのに苦労しますが、「後ろで手を組めるようになった」「冬道で転びそうになっても踏みとどまれるようになった」という声を聞くと続けていてよかったです。体操のあとは仲間と考えたゲームを楽しんだり、食事を開いたり、グループ同士の交流も深まっています。

▶お問い合わせ 美唄市高齢福祉課 ☎(0126) 62-3156

発信します! 道内各地の話題をお届けします。

総合振興局 & 振興局

後志 渡島

後志総合振興局 春が旬! 森が育む寿都町のカキ。

漁業を基幹産業とする寿都町では、海を豊かにするために植樹による森づくりを地域ぐるみで行っています。水質の良い海で育つ寿都町のカキは春が旬。森に育まれた養分が雪解け水とともに川から海へ流れ込んでカキの栄養となり、4月下旬には身入りの良い状態になります。毎年5月には寿都町で「寿かき・ふるさと祭り」も行われています。旨み、コクが大人気のカキをぜひ味わってみませんか。



寿都町のカキ

▶水産課 ☎(0136) 23-1391

渡島総合振興局 いち早く春が訪れる、松前さくらまつり。

北海道新幹線の平成27年度開業を目指して建設工事が進む道南では、開業効果の発揮に向け、地域にどのような課題があるか、取り組みが必要か、関係者によるプラン作りが進められています。はこだて和牛など、食と観光のブランド化も大きなテーマです。春の道南観光の魅力といえば桜。「松前さくらまつり」で、道内でのいち早い春を満喫してみませんか。

期間 4月29日(月・祝)~5月19日(日)〈予定〉 場所 松前公園

▶地域政策課 ☎(0138) 47-9425 ▶松前観光協会 ☎(0139) 42-2726



松前公園の桜

知ってる? 北海道自慢

北海道が始まりのものやナンバーワンには、こんなエピソードがありました。

100年以上前の防波堤が いまも港を守り続けている。



日本人による初めての外洋防波堤 小樽市

1908(明治41)年、日本人による初めての外洋防波堤を完成させたのは、札幌農学校(現・北海道大学)卒業後、米国やドイツで土木技術を学んだ廣井勇博士です。



“港湾工学の父”廣井勇 横浜港や佐世保港で亀裂や水漏れなどの事故が相次ぐ中、耐海水性の高いコンクリートブロックの製造と波力を分散させる工法により、小樽港に全長1,288mの北防波堤を完成。100年以上経ったいまもなお外海からの波を防ぎ、北海道遺産にも選定されています。写真・資料提供:北海道大学附属図書館、小樽港湾事務所



北のめぐみ プレゼント!

アンケートに答えて道産品を当てよう!

応募者の中から抽選で30名様に、苫小牧市の障がい者支援施設「永光」の無添加「手作りジャム」(イチゴ・ハスカップ各2個)をプレゼント!



●当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。

次のアンケートにお答えください。

広報紙「ほっかいどう」3月号はわかりやすかったですか?
①わかりやすい ②ふつう ③わかりにくい

●応募方法: アンケートの回答、住所、氏名、年齢、電話番号、本紙への意見・感想を記入の上、ハガキ、パソコンまたは携帯サイトでご応募ください。

●応募先: ハガキ 〒060-8588 北海道広報広聴課 携帯サイト「北のめぐみプレゼント!」係
パソコン 広報紙「ほっかいどう」 検索

●応募期限: 3月22日(金)必着
応募いただいた方の個人情報は、当プレゼントの発送以外には使用いたしません。
※1月号のプレゼント募集には2,873件の応募をいただきました。

北海道の人口	平成24年12月末	前年同月比
総人口	5,471,274人	26,132減
男	2,591,075人	15,081減
女	2,880,199人	11,051減

※人口は年4回公表される統計資料に基づき直近のデータを掲載しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。次号のお知らせ 次号は5月に配布予定です。

●掲載記事の関連ページ、広報紙アンケート結果、広報紙のバックナンバーなどの閲覧は下記からアクセスできます。

広報紙「ほっかいどう」 検索

※この広告は、広告主の責任において北海道に掲載しているものです。

広告